禁止されたIPプレフィックス

禁止されたIPプレフィックス

このアラームは、監視対象ピアの Routing Information Base（RIB）にインストールされているパブリック IP ルーティングスペースに禁止されたプレフィックスがあるか、または監視対象ピアがそれを転送している場合に検出します。

Bogon は、予約されているか、地域インターネットレジストリ（RIR）に割り当てられていないため、パブリックではない IP アドレスブロックです。[フルBogon（Full bogons）] には、RIR に割り当てられているが、RIR によって特定のネットワークに割り当てられていないアドレスブロックも含まれます。禁止されたプレフィックスのアドバタイズメントをルータでフィルタリングすることをお勧めします。ユーザーは、このアラームを使用して、Bogon アドバタイズメントについてのみアラートを受け取るように選択できます。

考えられる検出される問題

このアラームは、ルータに対する DoS 攻撃の特定に役立ちます。

関連するアラームルールの設定

このアラームルールをピアポリシー設定に追加する場合は、[Bogon（Bogons）] または [フル Bogon（Full bogons）] を選択します（[外部ルーティング分析（External Routing Analysis）] > [設定（Configure）] > [ポリシー（Policies）] > [ポリシーの追加（Add Policy）] > [ピアポリシー（Peer Policy）] > [ルールの追加（Add Rule）] > [禁止されたIPプレフィックス（Prohibited IP Prefix）]）。

例

[禁止されたIPプレフィックス（Prohibited IP Prefix）] アラームルールでオプション [Bogons] を使用してピアポリシーを作成し、ピア RTR1 にリンクします。RTR1 が 10.0.0.0/24（RFC1918 による BOGON）を Crosswork Cloud Network Insights にアドバタイズすると、アラームはアクティブになりますが、2001:221::/32（フル Bogons）がアドバタイズされるとアクティブになりません。

禁止されたIPプレフィックス

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。